

## 臨床研究のお知らせ

① 試料・情報の利用 目的及び利用方法	研究課題名	Stagel 胃癌切除後の栄養指標の変化
	実施予定期間	倫理審査承認後～2022年3月31日
	研究の概要	胃癌術後には手術侵襲や経口摂取低下により体重が減少し、栄養状態が低下します。術後1か月の体重減少が15%以上、除脂肪体重減少量5%以上は術後補助化学療法継続のリスク因子であり、術後体重減少率が15%以上は予後不良との報告もあります。体重減少量を減らすことは重要な要素ですが、胃術後早期での栄養指標・体組成の推移についての検討は十分に行われていません。
	対象となる方	当院消化器外科に2017年1～2022年12月の間に胃切除術を受けたpStagel胃癌の患者さんを対象にします。
② 利用、又は提供する試料・情報	年齢、性別、術式、既往歴、合併症、検査データ(病理、生化学、血液、inbody検査)、転移の有無、家族構成、生存期間、内服薬、併用療法、術後合併症の有無、術後経過などの既存の診療情報を利用します。結果の公表の際は、個人が特定されないように個人情報保護をします。	
③ 利用する者の範囲	当院消化器外科の研究参加医師のみが情報を取り扱います。	
④ 試料・情報の管理責任を有する者	研究責任者：消化器外科 部長 三隅俊博	
⑤ 試料・情報の提供停止について	本研究の対象患者に該当する可能性のある患者さんで、ご自身の情報等が研究に利用されることを拒否される場合は下記の窓口にお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療などに不利益が生ずることはありません。 (ただし、お申し出をされた時点で、データ分析等を終えている場合は、データを利用させていただくことがありますのでご了承ください。)	
⑥ ⑤の受付	⑤について、ご希望の方(代理人可)は下記の相談窓口にご連絡ください。	
	相談窓口	県立広島病院 消化器外科 部長 三隅俊博 TEL：082-254-1818 (平日8:30～17:15)
研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できますので、問い合わせ先にご連絡ください。		